

## 定住化施策と人材確保対策について



西島 昌和

定住化施策の推進は地域の活力を高めると共に、

優秀な人材を確保するなどUターンやIターン組の受け皿づくりとなり、地元商工業の活性化や企業の雇用対策にもなります。

**問** 市として基本計画による定住化事業を進める

具体的施策の展開は、魅力あるまち、暮らし満足度の高いまち、住んでみたいまち、を目指すことが不可欠であります。

地域別まちづくり市民会議で取り組みたい事業に多くの意見が出ました。

検討内容を踏まえ、定住化事業につながる方策について、積極的に取り上げ、国土利用計画にも反映させて、定住化促進事業に取り組んでいきたいと考えます。

**問** 市として地元商工業の育成や、進出企業の新規雇用など採用面や人材確保面での支援策は

採用や人材確保面での支援策について、企業立地は地域活性化の鍵を握る雇用と、所得を産み出す原動力と考えます。企業は何を求めているか、立地企業の声を充分に反映させ、きちんと応える行政の姿勢が大切であり、立地後のフォローアップをしつかり行う事が必要と考えます。

地域産業活性化に資する組織づくりを早期に

立ち上げ、空港周辺と連携し、企業立地と人材確保、定住化の施策に取り組む、県外に情報

発信してまいります。静岡空港を核とした企業誘致推進のため、市として雇用創出、能力開発、人材育成などの意見を提出いたしました。



## マタニティマークについて 子ども議会について



岩瀬 初代

**問** 妊産婦にやさしい環境づくり推進のため、市内、地域住民への啓発活動として、マタニティマークを

実用化し、母子手帳交付時に配布する考えは  
**答** 平成18年3月、厚生労働省において「妊産婦にやさしい環境づくり」の一環として

- ① 妊産婦に対して理解のある地域・職場環境の実現
- ② 受動喫煙の防止
- ③ 各種交通機関における優先的席の確保

等について取り組む重要性からマタニティマークが発表され、同年8月より実施されました。

今後、女性の意見をお聞きする中で適切に進め、配布していきたいと考えています。

**問** 子ども議会の開催は、市政や議会を理解してもらう絶好の機会になると思う。豊かな感性から出される斬新な意見を市政に活かす考えは

**答** 行政として、今まで以上に子どもたちと接する機会を増やし、市役所を身近なものと感じてもらうことが必要であると考えています。市の長期構想に、小中学生の意見を反映させ、斬新な発想を取り入れるとともに、議会の仕組みや運営について、体験を通し民主政治に対する理解を深める良い機会だと思えます。小中学校の先生方の意見等を聞き、積極的に実施していきたいと考えています。



▲マタニティマーク